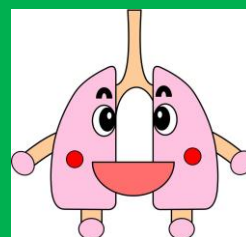


多摩府中保健所感染症週報

令和元年 第50週（12月9日～12月15日）



肺えもん

今週の傾向

- ★ 管内および都内のインフルエンザ発生報告数はさらに増加傾向です。
- ★ 管内の水痘の発生報告数は注意報レベル開始基準値を超えています。
- ★ 引き続き、手洗いや咳エチケットを行い、感染拡大を防止しましょう。

● 定点把握対象疾患・定点医療機関当たりの報告数

定点	疾患名	多摩府中保健所管内		東京都内	
		第49週	第50週	第49週	第50週
インフルエンザ	インフルエンザ	11.53	18.65	10.36	16.84
小児科	RSウイルス感染症	0.15	-	0.22	0.17
	咽頭結膜熱	0.95	0.85	0.54	0.61
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4.20	3.60	3.65	3.88
	感染性胃腸炎	5.90	7.05	7.39	8.41
	水痘	0.95	1.30	0.63	0.95
	手足口病	1.75	0.90	1.44	1.17
	伝染性紅斑	0.45	0.15	0.12	0.10
	突発性発しん	0.45	0.65	0.38	0.43
	ヘルパンギーナ	0.05	0.25	0.17	0.10
	流行性耳下腺炎	0.10	-	0.06	0.43
	不明発しん症	0.40	-	0.10	0.04
	川崎病	0.05	0.05	0.02	0.03
眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	-
	流行性角結膜炎	-	-	0.34	0.37
基幹	細菌性髄膜炎	0.33	0.50	0.04	0.04
	無菌性髄膜炎	-	-	0.08	0.04
	マイコプラズマ肺炎	0.33	2.50	0.68	0.63
	クラミジア肺炎（オウム病除く）	-	-	0.04	-
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）	-	-	-	-
	インフルエンザ（入院）	1.33	3.50	0.84	2.88

※東京都感染症情報センター「WEB 感染症発生動向調査」を基に作成しています。

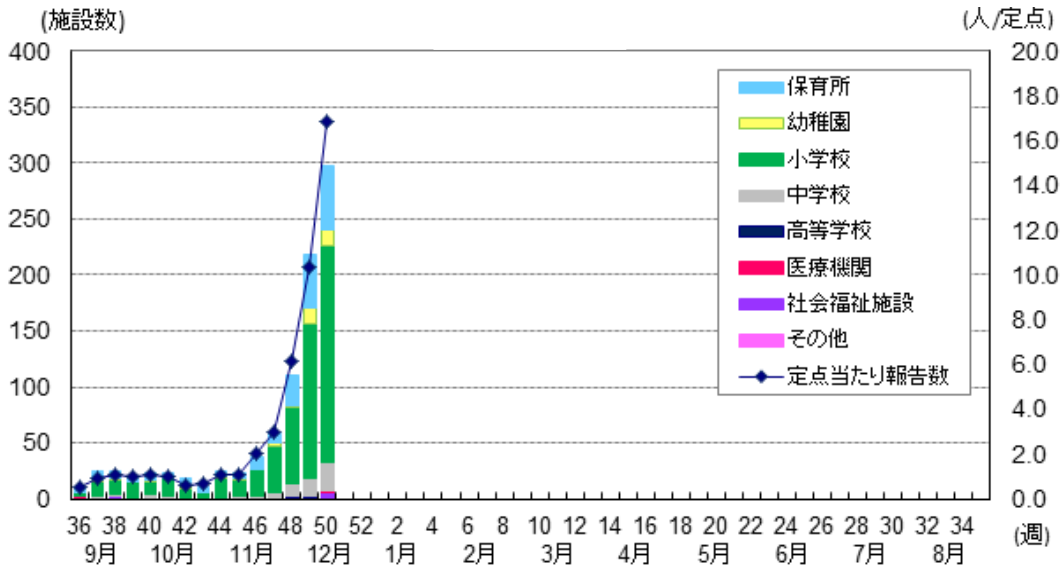
※定点把握対象疾患とは：発生動向の把握が必要なもののうち、患者数が多数で、全数を把握する必要のないものです。感染症法第14条により、都道府県は「指定届出機関（定点医療機関）」を指定し、指定届出機関は対象疾患について患者の発生状況を届け出ることになっています。

今週の状況

●インフルエンザ・・・管内および都内の報告数はさらに増加傾向です。

- 定点当たり報告数の増加に伴い、集団事例報告数も増加しています(図1)。

図1 都内における集団事例報告数(施設別)及び定点当たり報告数(計921件)



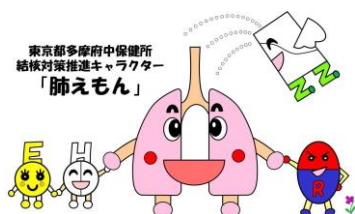
- 都内学校におけるインフルエンザ様疾患における臨時休業報告数は、昨シーズンの同時期に比べて、報告数が高くなっています(表1)。

表1 都内学校等におけるインフルエンザ様疾患における臨時休業(学級閉鎖等)報告状況

	幼稚園	小学校	中学校	高等学校	その他	計
2019-2020 シーズン累計 (2019年9/12~12/8)	26	378	46	4	0	454
2018-2019 シーズン (同時期) (2018年9/3~12/9)	6	75	4	0	0	85

参考：東京都感染症情報センターホームページ

- インフルエンザの流行状況(東京都 2019-2020年シーズン)
(<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/diseases/flu/flu/>)
- 東京都福祉保健局 報道発表資料(2019年12月12日)より一部抜粋
(<http://www.metro.tokyo.jp/tosei/hodohappyo/press/2019/12/12/19.html>)



多摩府中保健所 保健対策課 感染症対策担当
TEL: 042 (362) 2334 (代表)

検索 多摩府中 感染症週報